

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

5/10

論述ブースト No.15

医師不足・地域医療格差を論じる —— 偏在・専門化・医療制度を3軸で整理

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。医師不足の小論文で「医師を増やすべきです」という一般論で終わる答案と、偏在・専門化・医療制度という3軸で構造的に論証した答案の評価の差を、審査側として繰り返し経験してきました。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① 医師不足・地域医療の小論文

東京大学・慶應義塾大学医学部・奈良県立医科大学の推薦入試では、「地域医療格差の原因と解決策を論じよ」という小論文が出題される。偏在（地域・診療科）・専門化の進展・医療制度の問題という3軸で論証できる受験生は採点者（大学教員）に際立つ。

② 地域枠・医師の義務制について

「地域枠で入学した医師は義務通りに地域に残るべきか」という問いは、地域の医学部推薦入試で出題される。医療制度の問題として論じられる受験生は感想論述との差が歴然とする。

③ 面接での「地域医療へのコミットメント」

医学部面接で定番のテーマである。3軸で即座に論じられる受験生は試験官（大学教員）に「地域医療を深く考えている」と評価される。

2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
奈良県立医科大学・京都府立医科大学	地域医療格差の論述問題	偏在・専門化・制度の3軸が一般論との差を生む
横浜国立大学・名古屋市立大学 医学部	医師不足・地域医療の小論文	3軸の論証枠が採点者（大学教員）に際立つ答案を生む
東京大学・慶應義塾大学 医学部	地域医療政策・医師偏在の論述	制度の問題まで論証できる受験生として際立つ
医学部推薦・総合型選抜（全般）	「地域医療へのコミットメント」型の口頭試問	3軸で即答できる受験生として採点者に印象を残す

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

医師不足の論述を「医師を増やすべきです」という一般論で書く受験生は、採点者が求める「構造的な論証力」を示せない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）偏在・専門化・医療制度の3軸で論証できる、（2）地域枠・義務制の問題を制度として論じられる、（3）面接で3軸を使った即答ができる、という変化が起きる。

何十年も医学部の小論文・面接を審査してきた清光学院の講師陣は、医師不足論述で「一般論の答案」と「3軸で構造的に論証した答案」の評価の差を採点者として知っている。